

今年もどんぐりを調査しました



東京都の山にはツキノワグマが生息しています。ツキノワグマは夏の終わりから秋にかけて、どんぐりなど堅果類の実を好んで食べます。どんぐりなどの実り具合とツキノワグマの人里への出没の多さには関係があると考えられています。

そこで東京都レンジャーはサポートレンジャーと共に独立行政法人森林総合研究所『ツキノワグマ出没予測マニュアル』に基づいて2013年度より、どんぐりなど堅果類の豊凶調査を実施しています。



調査風景

2022年度調査結果

ミズナラ：凶作
コナラ：並作
ク　　リ：並作
ブ　　ナ：凶作

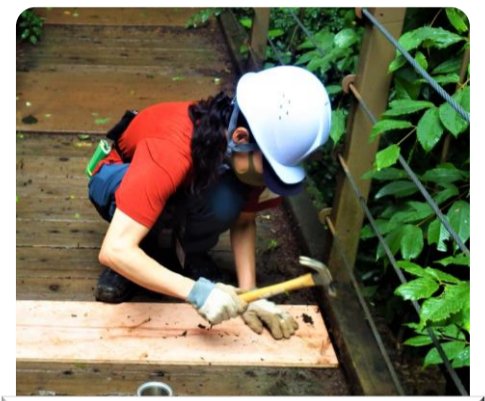
レンジャー工務店奮闘記



一から材料作り



力を合わせて荷上げ作業



ここからやっと補修作業

東京都レンジャーは、自然公園内の自然を見て回るだけでなく、東屋やベンチ、橋などといった公園施設に異常がないかを確認するためにパトロールをしています。パトロール中に施設に異常を発見したら、自分たちで直せるところは直します。

直すといっても一体どの段階から直すのかというと、

場合によっては一から材料や部品を作るところから始まります。そして、作った材料を担いで山を登り、やっと現地での補修作業がスタートします。

大変な作業ではありますが、利用者の皆さんに直接お礼を言われることも多い作業なので、とてもやりがいのある仕事です。



コナラからでた木くず



ナラ枯れ調査はじめました

ナラ類やカシ類の幹から大量の木くずが出て、葉が急に褐色になり枯れてしまう「ナラ枯れ」。まずカシノナガキクイムシが樹木内部にナラ菌を持ち込みます。そしてナラ菌に感染した細胞が死んで目詰まりを起こし、水が吸い上げられなくなるためナラ枯れが起こります。

枯れた木をそのままにしておくと、やがて倒木や枝折れによる事故につながりかねません。現在安全対策のためにレンジャーが中心となり、被害の大きい高尾地区を手始めに、登山道やベンチなど施設の周りにナラ枯れになった木がないかを調査しています。



調査風景

東京都レンジャーの業務

- 1 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 - 3 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

- 高尾ビジターセンター 042-664-7872
 奥多摩ビジターセンター 0428-83-2037
 御岳ビジターセンター 0428-78-9363
 小峰ビジターセンター 042-595-0400
 山のふるさと村ビジターセンター 0428-86-2551